

## 概要

地区名	北与野駅北口地区
施行者	さいたま市（旧与野市）
所在地	さいたま市中央区上落合二丁目の一部
地区面積	約2.2ha
事業期間	昭和63年度～平成4年度
用途地域等	商業地域(80/400)、防火地域、高度利用地区
地区の概要	2000年春に街びらきしたさいたま新都心に隣接する北与野駅駅前地区（6.3ha）は、JR埼京線から新都心へのアクセス路として、また、旧与野市の北の玄関口として注目されている。 北与野駅の周辺は、並列的に様々な事業手法を組み合わせ、国道17号線沿いに自動車関連の店舗、営業所、工場、住宅が混在していたこれまでの市街地を整備していく計画である。

## 施設建築物の概要

棟名	A館 / B館
敷地面積	1,907㎡ / 4,091㎡
建築面積	1,335㎡ / 3,455㎡
延床面積	9,742㎡ / 24,352㎡
容積対象面積	-
建ぺい率	69.00% / 84.00%
容積率	449.00% / 446.00%
構造	A館：鉄筋鉄骨コンクリート造 B館：鉄筋コンクリート造
高さ	38.8m / 30.9m
規模	地上10階、地下1階 / 地上8階、地下2階
用途	機械室（地下2階） ホテル、店舗、事務所、 業務、駐車場 （地下1階～地上9階） レストラン（地上10階）
住宅戸数	0戸

施設建築物の名称	アルーサ
名称の由来	「アルーサ」とは、北斗七星を含む大熊座を語源とすることから、この地区が、与野の北都として市民に親しまれるようにという意味が込められています。

位置図



完成写真

